

# 届け！私たちの意見 塩竈のまちづくりに提案！

11月12日、第13回塩竈こどもゆめ議会が開催されました。小学6年生23人が「こども議員」として、塩竈のまちづくりを真剣に考え、市長と議論をしました。

これまで10回の勉強会を行い、テーマの選定や意見・質問の整理、発言の練習などを行ってきました。

2つの党の代表質問を紹介します。



電波党



まぐ介

## 提案

塩竈の良いところを発信する方法の提案です。

観光客は、SNSやホームページから情報を集めます。現在のホームページは、みなと祭りの御座船が目飛び込んでいますが、観光案内のページは文字ばかりで、操作もしにくいです。

塩竈への最初の入口となるホームページを動画や写真を入れて、楽しい雰囲気を与えるのはいかがでしょうか。もしものときの災害関連の情報も発信すれば安心して観光ができると思います。いかがでしょうか。

## 市長からの回答

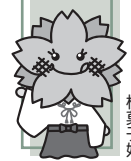
市のホームページは、多くの方に興味や関心を持ってもらえるように、写真と文字の両方を掲載しています。たくさん情報を掲載しているため、文字が多く分りにくいかもかもしれません。塩竈の良いところを、理解いただけるように改善していきたいです。

また、大きな災害が発生したときは、トップページに災害情報が表示されるようになっていきます。

これからもホームページやSNSを活用しながら、安心して塩竈を楽しんでいただけるように頑張ります。



砂党



桜菓子姫

## 提案

少子高齢化が進む塩竈市。人口の31%

を占める高齢者の方のなかには、元気な方がたくさんいらっしゃいます。このような方を中心にオリジナル弁当を作り、新たな雇用を創出するのはいかがでしょうか。

買い物などが困難な家庭に向けて作り、地域の交流を増やすために小学生も参加します。私たちは、第一次産業の重要性や調理の仕方を学べて、高齢者の方は、仕事をすることでやりがいや収入を得ることができそうです。

世代間の交流が新たに生まれ、みんなが顔見知りの明るい塩竈になると思いますが、いかがでしょうか。

## 市長からの回答

すでに市内には高齢者の方にお弁当を配達している会社があります。しかし、配達するだけではなく、食を通じ、小学生の皆さんとの交流ができれば、高齢者の方に生きがいを感じてもらえますし、もっと元気に暮らしていけることが期待できますね。

お弁当を作るときには、衛生管理や高齢者の方が食べやすいように何を提供するかなどを考える必要があります。このようなことを小学生の皆さんにも考えてもらい、参加していただけるように、実現に向けて工夫、検討していきます。



電波党  
委員長 遠藤ころろさん  
(二小6年)

私たちの党は、観光客を増やすために電波を使い、塩竈市のよさを発信できれば良いと考え「電波党」としました。

私は、話した後に周りをしっかり見渡すように心掛けました。練習の成果を発揮できました。私たちの意見を市長さんが実現してくれるか楽しみです。



砂党  
委員長 遠藤汐璃さん  
(三小6年)

私たちの党は、塩と砂糖は反対なので、塩竈市を改善していくことを目的に「砂党」としました。

私は、練習のときに「創出」という言葉をかんでしまったので、本番ではかまないように気を付けました。しっかり発言することができて良かったです。



生涯学習課 生涯学習支援係  
36212556